

機能毎の病床の状況について

病院名: 医療法人康仁会西の京病院 医療圏: 奈良

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 （注1）
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期		3床	0床	0床
	急性期	重症	145床	100床	100床
		軽症	0床	48床	48床
	回復期		50床	50床	50床
	慢性期		50床	50床	50床
	休棟中 （今後再開する予定）			0床	
	休棟中 （今後廃止する予定）			0床	
	（合計）（自動計算）		248床	248床	248床
精神病床			0床	0床	0床
結核病床			0床	0床	0床
感染症病床			0床	0床	0床
介護医療院				48床	48床

(単位: 床)	
(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
0床	-3床
100床	-45床
48床	48床
50床	0床
50床	0床
0床	0床
0床	0床
248床	0床
0床	0床
0床	0床
0床	0床
48床	48床

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人康仁会西の京病院

医療圏：奈良

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（１）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

急性期、回復期、慢性期の全ての病床機能を揃え、また、当法人内の介護施設（介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム、介護医療院、グループホーム）、在宅施設（サ高住）、在宅医療（訪問看護、訪問リハビリ）と連携を行い『面倒見のいい総合医療施設』を運営する。さらに、2040年頃を見据えて今後は法人外の介護施設との連携を強化し、地域における医療・介護・在宅の役割を担うべく取り組んでいく。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

すでに地域包括医療病棟50床を設置し、受け入れ体制を構築している。救急隊からの要請に対しては、応需率を常に80%以上とする目標を掲げている。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

当法人内の介護施設への訪問診療はすでに実施している。在宅医療の必要性は認識しているが、往診対応ができる医師の確保をはじめ在宅医療提供体制のさらなる整備については、現時点では未定である。

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

看護師は人材派遣会社やあらゆるチャンネルを通して募集を継続しているが、充足するには至っていない。その分、透析センターや手術室、各病棟において、医師、臨床工学技士や薬剤師へのタスクシフトを行い、円滑に病院運営ができるように努めている。
医療DXの取り組みとしては、業務の効率化のために電子カルテのバージョンアップや入退院支援システムの導入等を進めているが、高額な費用を要する医療DXは現時点ではなかなか難しい。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

[1-2]手術の実施

消化器

[1-3]化学療法の実施

[1-4]放射線治療の実施

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

[2-8]大動脈瘤手術の実施

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

[2-10]特記事項

血管疾患のうち、下肢虚血などのEVTも積極的対応が可能である。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応していない

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

[3-9]特記事項

奈良医大脳外科から派遣の非常勤医師が一部対応に当たる。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

1-2次救急の24時間対応、少なくとも応需率80%を達成するように意識を高めている。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

＝

[5-5]通所リハビリの実施

＝

[5-6]今後の方向性

昨年度から実施している「365日リハ体制」のさらなる充実を図る。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ある

[7-3]上記でありの場合、その名称

西の京訪問看護ステーションかがやき

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

—

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

—

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

—

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

—

[11-5]特記事項

—

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当する

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当しない

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当する

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—